

山形県広報誌県民のあゆみ令和4年3月号テキスト
データ読み上げ用として加工しています。

<表紙>

山形県広報誌／県民のあゆみ 令和4年3月号 第626号

県民のあゆみ3月号

県民の皆さまへ 新型コロナウイルス感染症関連情報（2ページ）
特集 次代を担う新ビジネスの創出に向けて（4ページ）
奏であう人 山形から世界へ、これからの観光を考える（8ページ）
やまがた伝説 米づくり（16ページ）

表紙写真キャプション

本県の新たな創業支援拠点「スタートアップステーション・ジョージ山形」に集う若き创业者の皆さん。県では、新たなビジネスの創出や創業を促し、安定的な経営、雇用の確保を通して、地域経済の発展を図るための取組みを進めています。

（注釈）撮影時のみマスクをはずしています。

<2から3ページ>

タイトル

県民の皆さまの安心と健康を守るために

新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行から2年以上が経過しましたが、いまだに収束が見通せない状況です。感染力が極めて強いといわれるオミクロン株は、本県においても年明けから感染が急激に拡大し、1月下旬には本県に初めて「まん延防止等重点措置」が適用されるなど、大変厳しい状況が続いております。

県としましては、県内での保健医療体制のひっ迫を防ぎ、社会・経済・文化活動を維持し、県民の皆さまの安心と健康を守るため、感染拡大防止に全力を挙げてまいります。

県民の皆さまには、不織布マスクの着用やこまめな手洗い、消毒、密閉・密接・密集の全てを避けるゼロ密、換気の励行などの基本的な感染防止対策の徹底を引き続きお願いします。

新型コロナ対策の要は、やはりワクチン接種でありますので、希望する県民の皆さまへの追加（3回目）接種が円滑に進むよう、市町村や関係団体と十分連携し、しっかりと取り組んでまいります。

この難局を、県民の皆さま、事業者の皆さま、市町村の皆さまと一緒に乗り切っていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

山形県知事 吉村美栄子

新型コロナワクチン 追加（3回目）接種が始まっています

よくある問い合わせをまとめましたので、ぜひご確認ください。

Q なぜ、追加接種が必要なのか？

A 新型コロナワクチンは高い発症予防効果等がある一方で、時間の経過に伴い、感染予防効果や高齢者における重症化予防効果が低下することがわかっています。感染予防効果等を再び高めるために、追加接種が必要です。

Q 追加接種はどのようにしたら受けられるのか？

A お住まいの市町村から追加接種用の接種券等が送付されますので、接種を実施している医療機関または会場を確認のうえ、予約をお願いします。

Q 追加接種は無料で受けられるのか？

A 初回（1回目・2回目）接種と同様に、無料で接種することができます。

Q 追加接種で使うワクチンは？初回接種と同じワクチンじゃないといけないのか？

A 追加接種に使用するワクチンはmRNA ワクチン（ファイザー社または武田／モデルナ社のワクチン）です。初回接種と異なるワクチンを接種することも可能です。

Q 初回（1回目・2回目）接種を海外で受けた人でも、日本で追加接種を受けられるのか？

A 海外での初回接種がファイザー社、武田／モデルナ社またはアストラゼネカ社のワクチンを受けた方であれば、日本で追加接種を受けられます。

Q 初回（1回目・2回目）接種が終わっていません。追加接種開始後でも、初回接種を受けられるのか？

A 接種を受けられる期間は、令和4年9月30日までです。この期間内であれば、初回接種も受けられます。

Q 2回目の接種後に引っ越した場合、接種券は今住んでいる自治体から送付されるのか？

A 2回目の接種完了後、住民票所在地が変更となった場合、追加接種用の接種券を取得するためには、申請が必要になります。お住まいの市町村にお問い合わせください。

（注釈）一部の市町村では、申請なしで送付される場合もあります。

ワクチン接種の予約について

お住まいの市町村にお問い合わせください

問い合わせ先はこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/090016/kenfuku/kansensyou/covid19-vaccine.html#市町村> HP

ワクチンの効果や副反応等の医学的知見が必要な相談

山形県ワクチンコールセンター フリーダイヤル 0120-56-7690

<受付時間>

午前8時30分から午後6時（土日祝日も受け付けます）

●新型コロナワクチン全般に関する相談

厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-76-1770

<受付時間>

午前9時から午後9時（土日祝日も受け付けます）

タイトル **県政できごとアラカルト** こんなことがありました

1) 東北中央自動車道の全線開通に向け、また一步前進！

「村山本飯田 IC—大石田村山 IC」開通式（令和3年12月11日、村山市）

この日、多くの県民が待ち望んでいた、東北中央自動車道の村山本飯田 IC—大石田村山 IC 間が開通しました。当初は、令和4年内の開通を予定していましたが、整備財源が確保された結果、開通が前倒しとなったものです。開通に先立ち行われた式典では、平山副知事が「北村山地域は、そば処や果物、温泉など魅力的な観光資源が多く、広域交通の拠点となる山形空港も擁している。高速交通網の整備により、産業振興や観光誘客の促進、関係人口の拡大、救急搬送の時間短縮など、一層の地域経済の活性化と、県民の安全・安心な生活の確保が図れるものと期待する。」と吉村知事のメッセージを代読しました。残る東根北 IC—村山本飯田 IC 間も、令和4年内の開通を予定しており、これで新庄市までが全国的な高速道路のネットワークで結ばれることとなります。県では、こうした交通インフラを最大限に生かし、県勢の発展につなげてまいります。

写真キャプション 写真提供 国土交通省 山形河川国道事務所

2) たくさんの希望と感動をありがとう

山形県スポーツ賞授賞式（令和3年12月27日、令和4年1月5日、山形市）

国内外の競技スポーツで優秀な成績を収めた方や、プロフェッショナルスポーツにおいて年間を通して活躍した方をたたえる山形県スポーツ賞。昨年、顕著な成績を残したお二人への授賞式を行いました。12月27日は、新人ながらセ・パ両リーグ最多の30盗塁を記録し、セ・リーグ盗塁王を獲得した中野拓夢選手（阪神タイガース）に山形県スポーツ特別賞を贈呈しました。中野選手は「来季はチームの優勝はもちろん、2年連続の盗塁王を目指したい。」と来シーズンの抱負を語ってくれました。

1月5日には、昨年の世界ボクシング選手権で日本人初の金メダリストとなった岡澤セオン選手へ山形県スポーツ大賞を贈り、吉村知事が「世界選手権での活躍は見事でした。県民に元気と活力をもらいました。」と祝福しました。岡澤選手は「今年は長期の海外合宿など、いろいろなことに挑戦し、2年後のパリ五輪で金メダルを取りたい。」と意気込みを話してくれました。お二人のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。

写真キャプション1 中野拓夢選手

写真キャプション2 吉村知事と懇談する岡澤セオン選手

<4から5ページ>

タイトル

特集 次代を担う新ビジネスの創出に向けて 新たなアイデアやチャレンジを応援します！

山形県の持続的な発展のカギとなるのが、今後の本県産業を牽引する新たなビジネスの創出や、地域経済に活力をもたらす創業です。県では、新規事業の創出や創業を促す取組みを進めています。

写真キャプション 令和3年度やまがたビジネスプランコンテスト審査会風景

本県の中小企業の現状と課題

県内企業の大部分を占める中小企業・小規模事業者は、地域経済を支える、無くてはならない存在です。しかし、本県の中小企業・小規模事業者数は平成21年からの7年間で約16パーセントも減少し、その傾向は今もなお続いています。経営者の年齢は全国平均よりも高く、高齢化や担い手不足による廃業の増加が見られます。

本県の中小企業数

平成21年 45,799社

平成28年 38,726社

出典 中小企業白書

経営者の平均年齢

山形県 63.96歳

全国 62.49歳

東京商工リサーチ調べ

令和2年12月時点

廃業する企業が増える中、地域経済を支える新たなビジネスの創出や創業が期待されていますが、本県の新規開業率を見ると、令和元年度で全国44位と低位で推移しています。

全国の新規開業率と山形の新規開業率の推移のグラフです。

縦軸は開業率、横軸は年次を表し、平成27年から令和元年までの推移を表しています。出典は中小企業白書。

全国の新規開業率は、平成27年時点で5.0パーセントほど、次年の平成28年にピークを迎え、平成30年にはピーク時の2割ほど減少、令和元年にはさらに減少しています。

山形の新規開業率は、平成27年から平成29年まで3.4パーセント、平成30年が3.1パーセント、令和元年はさらに減少しています。

今、なぜ創業支援が必要なの？

昨今の産業界は、IoT（注釈1）、AI（注釈2）、ロボットなどの第4次産業革命と呼ばれる技術革新が進み、Society5.0（注釈3）といわれる未来社会の実現に向けた取組みも急速に進展しています。このような中で、既成概念にとらわれない新たなビジネスや働き方も生まれてきていますが、大企業と比べ経営資源に限りがある中小企業や小規模事業者では、環境の変化に柔軟に対応することが容易ではありません。

新たなビジネスや創業は、新たな仕事と雇用を生み出します。そのため、県では、県内企業や個人の夢や新たなチャレンジを、さまざまな面から支援しています。今回は、その取組みについてご紹介します。

用語解説

（注釈1）Internet of Things（物のインターネット）の略。スマホや家電等の物が直接インターネットにつながり、離れたところから操作や状況把握ができる技術

（注釈2）Artificial Intelligence（人工知能）の略。コンピューターが人間のように画像を認識したり計算したりする技術

（注釈3）仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、新たな未来社会

集まれ！創業希望者

県では、昨年11月、山形県企業振興公社と連携し、創業支援窓口とコワーキングスペース（注釈4）の機能を併せ持つスタートアップステーション・ジョージ山形を、霞城セントラル2階に開設しました。県が支援する形でのコワーキングスペース設置は東北初です。山形駅直結の利便性を生かし、集う人が新たなビジネスを創り、新たなビジネスが新たな人を呼び込む好循環を生み出す場です。

（注釈4）事務所や打合せスペースなどを個人や複数の会社で共有し、それぞれ独立した仕事を行う場所

スタートアップステーション・ジョージ山形

写真キャプション1 防音ばっちり！オンライン会議が可能な個室は3つ

写真キャプション2 自由度の高いフリーアドレスエリア、広い作業スペースが魅力のノマドデスクなど、個人席は最大50席

商業登記の所在地として登録可能！

インフォメーション

【時間】月曜日から金曜日 午前9時から午後8時

土曜日と日曜日 午前9時から午後6時

【休館】祝日・祭日、年末年始

電話番号 023-666-6100

料金等の詳細はこちら <https://www.george-yamagata.jp/>

機能1 創業相談

創業に関心がある方、創業を考えている方の総合窓口として、構想段階から無料で相談に応じます。アイデアを事業化させるための助言、創業に向けた資金調達、創業後の販売促進策など、段階に応じた助言と支援機関への橋渡しを行います。

機能2 人材交流の場

女性や学生を対象としたセミナー等で創業の裾野を広げ、産学官と連携した企画を通して、さま

さまざまな人達の交流を生み出します。県内外の起業家やビジネスマン、行政など多様な分野の人が
交わり合うことで、新しいアイデアやビジネスが生まれます。

機能3 いつでもつながる

県内11のコワーキングスペースと常時接続されており、地域や施設を越えて、利用者同士が気軽に
交流できます。山形の創業コミュニティを形成し、拡大を図っていくことで新たなビジネス創
出を促進していきます。

LIGHTHOUSE（酒田市）

サンロク（酒田市）

のくらし（新庄市）

みどりまち文庫（鶴岡市）

kokage・Link MURAYAMA（村山市）

スタートアップステーション・ジョージ山形（山形市）

at Lounge（朝日町）

東北芸術工科大学 松村茂研究室（山形市）

harappa（上山市）

i-bay（長井市）

スタジオ八百萬（米沢市）

山形大学有機材料システム事業創出センター（米沢市）

創業時の経費負担を軽減！

創業で大きな壁となるのが資金調達です。県では、創業時の経費負担を抑えるため、飲食業等の小
規模な創業から、自らの技術を生かしてスタートアップ（注釈5）を目指す方など、それぞれの創
業の形に合わせた補助制度を用意しています。

（注釈5）新しいビジネスモデルや市場を開拓し、短期間で急激な成長を狙う企業や事業のこと

やまがたチャレンジ創業応援事業

対象 新たに小規模事業者として創業した方

補助経費 創業に要する経費の一部（補助率2分の1）

助成上限 50万円（UIターン者や女性には加算有り）

例 飲食店や美容室、ネイルサロン、英会話教室、学習塾、トレーニングジム など

スタートアップ支援事業

対象 独自技術や革新的なアイデアを生かした事業に取り組むスタートアップ企業

補助経費 創業・事業化に要する経費の一部（補助率2分の1）

助成上限 創業1年目は150万円 創業3年目までは100万円

例 ロボットを使った独創的なサービス、新たなプラットフォームサービスの立ち上げ など

支援を受けた創業者の声

庄内魚河岸酒場潮彩（鶴岡市） 斎藤俊幸さん

事業経費の計算等、分からない所が出てくるたびに、何度も商工会議所から丁寧に教えてもらい
ました。助成金を活用し、お店と山形の食を発信するホームページを作成しスタートダッシュに

成功、認知度向上につながりました。

山形発！世界を変えるビジネス

県では、スタートアップ企業の創出・育成を図るため、ビジネスプランコンテストを開催しています。コンテストでは新しいビジネスプランを持つ参加者が、ワークショップでアイデアを磨き上げ、その後、公開審査会で発表します。広く事業をPRすることで、事業と創業者自身の認知度向上につながります。また、審査会には、投資家や金融機関等の専門家も参加するため、事業化に向けた助言が得られるとともに、資金調達や事業連携の出会いの場にもなっています。

写真キャプション 令和2年度コンテスト イノベーション賞受賞 パイプ探査ロボ「配管くん」

創業を支援し活力ある山形に

県では、今後も、スタートアップステーション・ジョージ山形を拠点に、創業までの各段階に応じた支援を行うことで、将来にわたり本県経済の発展につなげていきます。

ぜひご覧ください！

県政テレビ番組

いき☆いきやまがた 放送のご案内

「人も地域も元気に！活力ある山形へ新ビジネスと創業支援」と題して県内民放4局で特別番組を放送します。

さくらんぼテレビ（SAY）3月5日（土曜日）午後4時から

テレビユー山形（TUY）3月13日（日）午後4時から

山形テレビ（YTS）3月19日（土）午後3時55分から

山形放送（YBC）3月26日（土）午後2時30分から

放送時間は変更になる場合があります。

問い合わせ 中小企業・創業支援課 電話番号 023-630-2354

<6から7ページ>

タイトル

ご存じですか？ 産業廃棄物のこと

皆さんは「産業廃棄物は工場から出るごみ、自分を出していない。」とっていませんか？

実は、私たちも普段の暮らしの中で気づかずに排出している産業廃棄物。その正体に迫ります！

そもそも産業廃棄物とは？

家庭以外で出たごみのうち、法令で定められた20種類のごみです。

仕事や職場から出たごみの中でも、20種類のごみ（汚泥、がれき類、廃油など）が産業廃棄物。その他のごみと家庭ごみを合わせたものが一般廃棄物と呼ばれる。

一般廃棄物は 59 万トン、産業廃棄物は 384 万トンが令和元年度に山形県で出たごみの実に 9 割近くを占めます！

これらも産業廃棄物です!!

職場で出た蛍光灯やガラス片、乾電池。

家屋の新築・解体時に発生する廃材やがれき。

この他にも、水道水を作るときに出る泥、火力発電で生じる灰など、生活に必要なものを作る際にも発生しています。

産業廃棄物の処理の流れ

減容 41.1パーセント

焼却、破碎、脱水処理で容積や重量を減らします

再生 55.7パーセント

リサイクルできるごみは原料や製品に再生します

最終処分 3.2パーセント

環境に害を及ぼさないように処理して、最終処分場に埋め立てます。

最終処分割合3.2パーセントというと少なく感じますが、その重さは12.4万トン！このペースでいくと、県内の最終処分場はあと約10年で満杯に！

また、大量生産・大量廃棄という社会のあり方は、限りある資源の枯渇や焼却処理に伴う二酸化炭素の排出増加につながり、私たち自身の暮らしに大きな影響を与えます。

ごみを減らし、リサイクルに努め、今ある資源や設備を大切に使うこと、そのような社会が求められています。

そこで、県では産業廃棄物税を活用して循環型社会の推進に取り組んでいます！

産業廃棄物税とは？

産業廃棄物の適正処理を進める取組み等に活用するための税金です。産業廃棄物の排出者に最終処分時の埋め立て量 1 トンあたり1,000円をご負担いただいています。例えば、こんな取組みに使われています。

資源循環型社会の実現に向けた啓発活動

写真キャプション やまがた環境展の開催

資源の循環を担う産業の振興

写真キャプション 1 山形県リサイクル製品の認定

写真キャプション 2 エアバッグを再利用したバッグ

写真キャプション 3 石炭灰を使ったコンクリート製品

「山形県リサイクル製品認定マーク」が目印

廃棄物の適正処理による環境負荷の低減

写真キャプション 不法投棄された廃棄物の回収

私たち産業廃棄物処理業界は、環境を守り産業を支える重要な社会インフラ企業として、今後も法令を遵守し、廃棄物を適正に処理していきます。

県民の皆さんもごみの分別や減量など、身近なことからご協力をお願いします。

写真キャプション 一般社団法人山形県産業資源循環協会会長 黒澤利宏さん

私たちが日頃の生活でできること

- ・商品に必要な分だけ買い、大事に長く使う
- ・リサイクル製品や環境に配慮した商品を選んでごみ削減やリサイクルに取り組む事業者を応援
- ・リサイクルがしやすくなるよう、ごみをきちんと分別
- ・節水・節電（水の出しっ放し、電気のつけっ放しに注意）
- ・不法投棄は犯罪！許さない目を地域の皆で持つ

リデュース（ごみになるものを減らす）、リユース（繰り返し使う）、リサイクル（再生利用）の3Rを心がけて、豊かで美しい山形を守り伝えていきましょう。

問い合わせ 循環型社会推進課 電話番号 023-630-2302

タイトル **誰もが希望する生き方で輝く社会へ** 固定的な性別役割分担意識（注釈）について考えてみよう

（注釈）「男性は仕事、女性は家庭」というような、性別によって役割を固定してしまう考え方や意識

近年、若者の県外流出が顕在化しており、特に女性の転出者数は男性の約1.5倍と大きく上回る状態が続いています。

県では、男女共同参画の視点から、性別にかかわらず、県民誰もがいきいきと暮らし働ける環境づくりに取り組んでいます。今年度は、女性がどのように考え、どんなニーズがあるのかを調べました。始めに、そのリアルな声を紹介します。

山形県の女性の暮らし方、働き方に関する調査

家庭での役割分担について

- 1位 家事や育児は、夫婦で共に行うのが良い（86パーセント）
- 2位 男性も家事・育児に積極的に関わったほうが良い（79パーセント）
- 3位 家計は夫婦で担うのが良い（75パーセント）

仕事や暮らしで感じたモヤモヤ

- 1位 女性への家庭責任の偏り（63パーセント）
- 2位 狭いコミュニティによる息苦しさ（54パーセント）
- 3位 「男性だからこうあるべき、これは女性の仕事」といった固定観念や慣習（52パーセント）

〈調査概要〉

期間 令和3年11月

方法 インターネット

回答数 県内外の女性1,121人

オンライン100人女子会の声

県内外の女性約100人に、やまがた暮らしの本音をお聞きするオンラインイベントを開催しました。「わたしたちの明るい未来のために」をテーマに

- 1 仕事や働き方
- 2 暮らし、家庭生活
- 3 地域

について感じていることを、自由に語ってもらいました。

主な意見

- ・人とのつながりに楽しさや安心感がある反面、窮屈に感じる時がある
- ・企業には、男性の育児休暇取得をもっと進めてほしい
- ・いまだに冠婚葬祭や町内会など皆が集まる宴席で女性だけが働いている姿を見かける

山形県は、女性の約8割が家庭の外で働くなど社会参画が進んでおり、夫婦で共に仕事をしながら、家事・育児を分かち合うことを希望する方が多数派となっています。

一方で、半数以上の女性が、家庭における責任に偏りがあること、性別による固定観念や慣習などに違和感を抱いているという実態が明らかになりました。

調査結果の詳細や参加者の声はこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/010003/kurashi/jinken/sankaku/100ninjosikai.html>

それでは、家庭責任の偏りの解消や、違和感を払拭するためには何から始めたら良いのでしょうか

個人では 男女ともに、仕事も家庭も大切に

若い世代は、仕事と、自分や家族との生活のどちらも大切にしたいと願っています。けれども現実には、男性は仕事中心、女性は生活中心になりがちではないでしょうか。従来の固定的な性別役割分担を見直し、「男女ともに家計を支え」「男女ともに家事・育児・介護をする」ことが今、必要なのです。まずは、パートナーや家族と「仕事と生活のバランス」について話し合ってみませんか。個人や家庭そして地域の「生活」を支えるケア労働を男女がともに担い、恵まれた自然環境や食を生かして、豊かで幸せな暮らしをつくっていきましょう。

写真キャプション 県男女共同参画センター・チェリア 伊藤真知子館長

会社では 誰もが働きやすい職場づくりを

いきいきと働ける職場づくりには、「その人らしさ」を大切にしつつ、能力を発揮できる環境が大切です。多様な人材を生かすヒントとして、今注目されているキーワードが、誰もが持っている「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」です。

例えば、こんな風に思い込んでいませんか？

- ・リーダーは男性の方が向いている
- ・お茶くみは女性がする方が良い

下記のサイトで「思い込み度」を確認できます。まずは、ご自分や自社の意識をチェックしてみてください。そこでの気づきが、誰もが働きやすい職場への第一歩。経営者の方も、働く皆さんも一緒に考え、取り組んでみましょう。

サイトはこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/010003/kurashi/jinken/sankaku/y-womanomixpt/umanomitushin.html>

問い合わせ 女性・若者活躍推進課 電話番号 023-630-3269

<8 から 9 ページ>

タイトル **奏であう人** ボリューム 64

撮影場所 Forest inn SANGORO (蔵王温泉スキー場中央ゲレンデ)

キーワード **山形から世界へ、これからの観光を考える**

蔵王で新しいスタイルの宿泊業を展開する菊地さん、山形を精神文化を愛し、外国向けの観光戦略に取り組むサラさんのお二人に、これからの観光や山形の魅力についてお聞きしました。

菊地 昭貴 (きくち あきよし) さん (宮城県)

昭和 55 年生まれ。宮城県出身・在住。サンフランシスコに語学留学後、地元で起業し、飲食店 2 店舗・小売店 2 店舗を運営するに至る。10 代から蔵王のロッジ「三五郎小屋」でのアルバイトを経験し、2012 年「株式会社三五郎」を事業承継。「SANGORO ONSEN LODGE」や「G-SQUARE」を次々開業。ゲレンデや温泉街のごみ拾い、ワークショップを実施するなど、蔵王温泉スキー場の賑わい創出にも努めている。

写真キャプション 2020 年から、蔵王中央高原活性化実行委員会の主催で行われている「蔵王中央高原グリーンフェスタ」。写真のバギー乗車体験は、お客さまにバギーを運転してもらい、ゲレンデ内をツーリングするもの。その他、スタンプラリー、キャンドルナイト、ジャズ・ポップスライブなどのイベントが繰り広げられた。

ミヨ・サラ・ラッセルさん (鶴岡市)

平成 5 年生まれ。フランス・スクラン市出身、鶴岡市在住。一般社団法人「DEGAM 鶴岡ツーリズムビューロー」事業課係長。トゥールーズ大日本学科卒業後、早稲田大学留学。トゥールーズ大大学院を経て、外国青年招致事業「JET プログラム」で再来日。鶴岡市でインバウンド観光事業、外国語刊行物の編集・翻訳・監修などを担当後、2020 年より DEGAM にて旅行商品の開発、観光情報提供などを行っている。

写真キャプション 日仏友好 160 周年を記念し、2018 年 7 月から翌年 2 月までパリを中心にフラ

ンスで実施された「ジャポニズム 2018」。多彩な日本文化の魅力を紹介し、動員数は 300 万人を超え、市民による交流も行われた。鶴岡を代表し、修験の白装束姿で参加したサラさんには、来場者から多くの質問が寄せられた。

旅行者の視点に立って満足度を高める

「三五郎小屋」を「Forest inn SANGORO」に改装し、売り上げを 8 倍に伸ばした菊地さん。

「まず、詰め込み型の団体客向けだった客室を大幅に減らして、個室を増やし、一部屋を広くしました」。

受け入れ客数は以前の 200 人以上から 30~40 人に。レストランも席数を減らし 300 席から 100 席へ。

「スタッフ数はそのままですから、一人ひとりのお客さまに目が届くようになりました」と話します。

「券売機やメニュー表も多言語化しました。外国の方を呼び込むためというより、自分を顧客の立場に置き換えて、不便に思うことを一つずつ解消していこうと考えた結果です」。

グループなどで一棟を貸し切る自炊スタイルの「SANGORO ONSEN LODGE」、朝食だけを提供する B & B (注釈) ホテル「G-SQUARE」も、顧客の視点で考え、低料金で気軽に宿泊できる「泊食分離・長期滞在型の観光拠点」のニーズを感じていたからだと言います。

菊地さんの話に、サラさんが大きくうなずきます。

「インバウンドにしても、旅行者の“数”を増やすだけでなく、一人ひとりの満足度を高めることが大事です。同時に、地域の人口減少や過疎化などの問題も解決するため、滞在中の消費額を上げ、地域全体の経済発展や幸福につながる観光のあり方を日々考えています」。

(注釈) Bed&Breakfast の略、宿泊と朝食をセットにした簡素な宿泊スタイル。

山形の観光資源の可能性と旅行スタイルの変化

今、世界的に「アドベンチャーツーリズム」への注目が高まっているとサラさんは続けます。

「その土地ならではの自然とのふれあい、歴史や文化の体験や学びを通して、自己成長を得られる旅行がヨーロッパを中心に人気です。

わざわざ外国人のための体験プログラムを作り上げる必要はありません。山形には、出羽三山と山伏、山寺、草木塔、三十三観音信仰など、古来から受け継がれてきた素晴らしい資源があるんですから」。

山岳信仰をはじめとする山形の精神文化は、ヨーロッパではすでに失われてしまったケルト文化との共通点も多く、興味や関心を持つ人が多いのだと強調します。

「差別的な言葉とされる“裏日本”は、私にとって“本格的な日本”とイコールです。“裏”は、山形に数多く残る即身仏に象徴されるような、深遠で神秘的なイメージそのもので、大きな魅力なんです」。

続けて菊地さんが国によって異なる旅行スタイルについて話します。「オフシーズンには、客側の立場を経験して仕事に生かす目的も兼ね、スタッフで海外へ長期旅行に出かけていました。日本やアジアの方々の多くは、欧米と違って土日など短期日程になりがちですね」。

菊地さんの話にサラさんが応えます。

「有名な観光ルートを急ぎ足で“消化”する旅と、長く滞在し、自分を見つめ高める“昇華”の旅があり、これからは後者が求められると思っています。山形には精神文化同様、世界が求める観光資源がたくさんあります」。

今、取り組むべきは情報発信と観光インフラの整備

「蔵王でのスノーシュー体験などの雪体験は、特に台湾やオーストラリアの方に人気です。コロナ禍が収束したら早く訪れたいと言ってくれるお客さまがたくさんいます。

今は、アフターコロナに向け、オリジナルプリンが発売やイベント開催など、中央高原エリアを知ってもらう試みと、ゲレンデの積雪情報の発信や海外からオンラインで予約できるシステムを準備中です」と菊地さん。

サラさんもこれに同調します。

「まさに、今こそ、世界に向けて情報を出していく時です。海外の旅行者は旅に出られないフラストレーションをWebサイトを見ることで解消しながら、行ってみたい場所を探しています」。

「海外から来県できるようになった時に備え、案内板やパンフレットの多言語化、外国の方も不便や不安を感じない安全対策など、観光インフラを整えていくことが大切です」。

お二人、声を揃えての提言でした。

<10から11ページ>

タイトル **県議会だより** 第89号

キャプション 12月定例会の閉会にあたりあいさつする坂本議長

12月定例会の概要

令和3年12月定例会は、12月2日から21日までの20日間の会期で開催されました。

新型コロナ対策や米価下落、燃油・資材高騰への緊急対策に要する経費のほか、県職員の給与改定に伴う人件費の補正等総額45億9,000万円の令和3年度一般会計補正予算をはじめ、追加提案を含め、知事提出の23議案及び意見書1件を可決しました。

今定例会では、ポストコロナやウィズコロナを見据えた経済対策や農業振興策など幅広い分野で活発な質疑が行われました。

12月定例会で可決された意見書

学校における働き方改革の推進に向けた教員業務支援員の拡充と必要な財政措置を求める意見書
意見書の内容はこちらから

<https://www.pref.yamagata.jp/600006/kensei/assembly/gikaikatsudou/ikensyo-ketugi/ikensyo-ketugi.html>

12月定例会で質疑質問を行った議員

質疑質問の様子（動画）や会議録はこちらからご覧いただけます！

録画中継

<http://gikai.pref.yamagata.jp/YamagataPref/>

会議録検索システム(注釈 12月定例会分は3月以降に掲載予定)

<https://ssp.kaigiroku.net/tenant/prefyamagata/SpTop.html>

代表質問(12月7日)

自由民主党 小松伸也 議員 最上郡選挙区

◆学校における生理用品の配備とジェンダーに関する教育の推進 など

県政クラブ 石黒 覚 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆令和4年度予算編成における県政重要課題と方向性 など

一般質問(12月8日)

自由民主党 遠藤和典 議員 山形市選挙区

◆知事の「恩返し」が県政に与えるプラス効果と影響 など

県政クラブ 菊池大二郎 議員 村山市選挙区

◆芸術・文化の薫る山形県づくりに向けて など

自由民主党 梶原宗明 議員 酒田市・飽海郡選挙区

◆災害時等における地域への防災情報等の伝達手段 など

予算特別委員会(12月10日・13日・14日)

自由民主党 相田光照 議員 米沢市選挙区

◆山形新幹線福島から米沢間トンネルについて など

県政クラブ 松田敏男 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆鳥海国定公園におけるスノーモビルの乗入れ など

自由民主党 五十嵐智洋 議員 長井市・西置賜郡選挙区

◆介護人材の確保 など

自由民主党 矢吹栄修 議員 天童市選挙区

◆娯楽から考える若者の県内定住・回帰 など

自由民主党 加賀正和 議員 尾花沢市・北村山郡選挙区

◆地域医療に対する県の考え方 など

自由民主党 鈴木 孝 議員 東村山郡選挙区

◆道徳教育の現状と今後の対応 など

県政クラブ 木村忠三 議員 米沢市選挙区

◆都市計画道路万世橋成島線の今後の見通し など

自由民主党 小野幸作 議員 寒河江市・西村山郡選挙区

◆トリュフに関する試験研究の取組状況 など

議会用語

代表質問

交渉団体である会派（注釈）を代表し、県政全般にわたって行う質問のこと。知事の議案説明を受け議場で行います。なお、事前に議長に発言主旨を通告します。

（注釈）議長に届け出た会派のうち所属議員が5人以上のもの。山形県議会では、自由民主党と県政クラブの2会派になります。（令和3年12月時点）

政治倫理について議員研修会を開催

12月17日、政治倫理向上対策検討委員会において、議員の倫理観の向上を目的に研修会を開催しました。「政治倫理の考え方について」と題し、都道府県議会制度研究会委員で元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏よりご講演いただきました。

写真キャプション1 講師の内田 一夫 氏

写真キャプション2 研修会の様子

東北中央道・日沿道の建設促進と羽越・奥羽本線等の高速化促進を国に要望

12月9日、東北中央自動車道・日本海沿岸東北自動車道の全線の早期供用と羽越・奥羽本線等の高速化促進に向け、関係協議会が国土交通省の中山展宏副大臣と加藤鮎子政務官に対して要望しました。

県議会のデジタル化を推進

12月13日、予算特別委員会で可動式ディスプレイを使った質疑が試行されました。議会のデジタル化の一環として、県議会デジタル化推進会議が試行したもので、映像資料を用いて質疑をよりわかりやすく見せる工夫を行いました。

写真キャプション1 ディスプレイを使った質疑の様子

写真キャプション2 県議会デジタル化推進会議の様子

山形交響楽団による議場演奏会を開催

12月14日、県議会をより身近に感じてもらう取組みの一環として、山形交響楽団の弦楽合奏による議場演奏会を開催しました。

傍聴席での鑑賞は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一般公募に替え、県立上山高等養護学校の生徒の皆さんをご招待しました。

県議会ギャラリーの展示

県議会ギャラリーでは、12月定例会期間中、県立上山高等養護学校の生徒の皆さんが職業科の学習で作成した、木工椅子やマグカップ、エコバッグ等の製品を展示しました。

県議会の情報は、山形県議会ホームページに満載です。ぜひご覧ください!!

山形県議会ホームページはこちら <https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html>

- 1 定例会の概要や議会の日程
- 2 議会の生中継やこれまでの質疑の模様
- 3 可決した意見書・決議の内容
- 4 各常任委員会・特別委員会での質疑内容
- 5 会派ごとの議案等に対する賛否状況 など

問い合わせ 編集発行／県議会事務局議事調査課 電話番号 023-630-2725

詳しくは検索窓に「山形県議会」と入れてクリック。

<12 から 13 ページ>

タイトル **地域の旬だより** 各地からの情報をお届けします。

村山エリア 家族みんなで楽しく食生活を見直そう！

山形県では「健康長寿日本一」の実現に向け、県民の健康づくりに取り組んでいます。その実現にはバランスの良い食生活が不可欠ですが、現在の県民の食生活は、塩分の摂り過ぎや野菜不足が問題となっています。これらは生活習慣病の発症とも関係が深く、生活習慣の基礎が形成される幼少期から、薄味に慣れ、野菜に親しむ食環境を作っていくことが大切です。

村山総合支庁では、食環境作りの一環として、管内市町の管理栄養士の方々と協力し「子どもと作る減塩・ベジアップレシピ集」を作成しました。苦手な野菜でも楽しく作って食べたり、手軽な丼物や麺類で野菜をたっぷり取ったりできる内容となっています。調理面でも、子どもが好きな「ちぎる」「混ぜる」「こねる」といった作業を取り入れ、楽しく料理に取り組める工夫も満載。また、食物アレルギーがあっても安心して食べられる代替食材も提案しています。ぜひ、ご家族皆さんでレシピ集をご利用いただき、食生活を見直すきっかけにしてください。

レシピ集はコチラ <https://www.pref.yamagata.jp/301026/kenfuku/kenko/shoku/reshipisyu.html>

写真キャプション 掲載メニューの一例 カレー×ケチャップの魔法「タコライス」

問い合わせ 村山総合支庁地域健康福祉課 電話番号 023-627-1102

庄内エリア おいしい庄内空港ファンクラブ 会員募集中！

昨年、平成3年の開港から30年目を迎えた「おいしい庄内空港」。30周年を記念して、庄内空港を利用される皆さんに親しみを持っていただき、楽しく利用していただくため、今年2月、コミュニケーションアプリ「LINE」上に「おいしい庄内空港ファンクラブ」を開設しました。

ファンクラブに入会いただくと、空港内の飲食店やお土産物店で利用できるクーポンや、出発前のひとときをゆったり過ごせる空港ラウンジの無料券など、空港で使える特典のほか、庄内地域の飲食店での料金割引や一品サービスなど、さまざまな会員特典を受けることができます。さら

に、庄内空港通販サイト「庄内くう港」での割引チケットや会員限定イベントへのご案内など、庄内空港を今まで以上に楽しんでいただける企画も準備しております。

登録は無料、「LINE」で「おいしい庄内空港ファンクラブ」を友だちに追加するだけと簡単です。多くの皆さんの会員登録と、ご利用をお待ちしております。

会員登録はコチラ <https://line.me/R/ti/p/%40833rkqdz#>

写真キャプション 庄内空港ビルのマスコットキャラクター“まめうさ”

問い合わせ 庄内総合支庁総務課連携支援室 電話番号 0235-66-5440

県内おススメ文化・スポーツ情報

やまがた文化の回廊フェスティバル 2022

3月19日（土曜日）から27日（日曜日）

歴史と文化が薫る山形市中心市街地をめぐって、ここにしかない多彩な魅力を発見するフェスティバルです。楽しいイベント盛りだくさん！春風を感じながら山形の芸術文化が彩る“文化の回廊”に出かけてみませんか？

3月19日（土曜日）

ファンタジックコンサート

会場：山形市民会館

3月21日（月曜日祝日）

トップコンサート

会場：やまぎん県民ホール

3月25日（金曜日）

まちなかクラフトワークショップ

会場：やまぎん県民ホール

3月26日（土曜日）

小林沙羅ソプラノ・リサイタル

会場：山形県郷土館「文翔館」

小曾根真 60TH BIRTHDAY SOLO OZONE60+ CLASSIC×JAZZ

会場：山形テルサ

3月27日（日曜日）

オーケストラの日 2022

やまぎん県民ホールオープンハウス 2022

会場：やまぎん県民ホール

やまがたエキナカマルシェ
会場：山形駅東西自由通路

イベントの詳細は、各会場にお問い合わせください。

詳しくは検索窓に「やまがた文化の回廊フェスティバル」と入れてクリック。

問い合わせ やまぎん県民ホールチケットデスク 電話番号 023-664-2204（受付時間 水曜日から月曜日 10時から19時）

山形交響楽団定期演奏会情報
東北 UNITED 山響×仙台フィル合同演奏会
開演日時

3月13日（日曜日）午後3時

出演

指揮：飯森範親 管弦楽：山形交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団

演目

ワーグナー：楽劇「トリスタンとイゾルデ」 より前奏曲と愛の死、

マーラー：交響曲第5番

会場

やまぎん県民ホール（山形市）

前売券

S席 5,000円 ほか

庄内定期演奏会 第30回 鶴岡公演

開演日時

3月24日（木曜日）午後7時

出演

指揮：藤岡幸夫 サクソフォン：上野耕平

演目

ディーリアス：小管弦楽のための2つの小品より第1番“春を告げるかっこうを聞いて”

グラズノフ：アルト・サクソフォン協奏曲

イベール：室内小協奏曲

メンデルスゾーン：交響曲第3番「スコットランド」

会場

荘銀タクト鶴岡（鶴岡市）

前売券

A席 4,800円 学生 2,100円 ほか

詳しくは検索窓に「山響」と入れてクリック。

プロスポーツゲーム情報

「モンテディオ山形」ホームゲーム

開催日時

3月20日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ベガルタ仙台

開催日時

3月26日（土曜日）午後2時

対戦チーム

東京ヴェルディ

開催日時

4月3日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ファジアーノ岡山

開催日時

4月10日（日曜日）午後2時

対戦チーム

ブラウブリッツ秋田

開催日時

4月23日（土曜日）午後2時

対戦チーム

大宮アルディージャ

会場 NDソフトスタジアム山形（天童市）

詳しくは検索窓に「モンテディオ山形」と入れてクリック。

「山形ワイヴァンズ」ホームゲーム

日時

3月5日（土曜日）午後6時

3月6日（日曜日）午後2時

対戦チーム

アースフレンズ東京Z

日時

3月12日（土曜日）午後6時

3月13日（日曜日）午後2時

対戦チーム

香川ファイブアローズ

日時

3月23日（水曜日）午後7時

対戦チーム

ファイティングイーグルス名古屋

日時

4月9日（土曜日）午後6時

4月10日（日曜日）午後2時

対戦チーム

越谷アルファーズ

日時

4月16日（土曜日）午後6時

4月17日（日曜日）午後2時

対戦チーム

佐賀バルナーズ

日時

4月29日（金曜日祝日）午後2時

4月30日（土曜日）午後2時

対戦チーム

ファイティングイーグルス名古屋

会場 山形県総合運動公園（天童市）

詳しくは検索窓に「山形ワイヴァンズ」と入れてクリック。

問い合わせ スポーツ振興・地域活性化推進課 電話番号 023-630-2284

注釈 1月31日時点の情報です。新型コロナの影響で変更となる場合がありますので、事前に問い合わせ先にご確認ください。

旬のやまがた美食レシピ

ハレの日に欠かせない、めでタイお魚

庄内浜産「真鯛（マダイ）」

その姿の美しさや味の良さから海魚の王と呼ばれ、「縁起の良い魚」として日本人に愛されてきた真鯛。平安時代の法令集「延喜式」にも鯛の文字が残るなど、その歴史は古く、今でも結婚式やお祭り、大相撲の優勝祝いなどお祝いごとには欠かせない魚です。

庄内沖は潮の流れが速く、その厳しい環境で鍛えられることで、身のしまった質の良い真鯛が取れます。はえ縄・一本釣り・ごち網・底びき網など、さまざまな漁法で一年を通して取れ、漁獲量が多いのも特長です。特に、これからの「木（こ）の芽時（めどき）」は、時化（しけ）もおさまり、だんだんと流通量が増えていきます。高級魚のイメージがありますが、意外とリーズナブルな価格で流通していますので、ハレの日だけでなく普段から、もっと家庭でも食べてほしい魚の一つです。今回は、この庄内浜産真鯛を使った簡単で華やかなレシピを紹介します。ひな祭りのごちそうにもオススメです。

真鯛のアクアパッツァ

材料（2人分）

真鯛切身 2切れ、あさり 10個、ミニトマト 5個、ニンニク 1かけ、オリーブオイル適量、白ワイン 100ミリリットル、塩コショウ適量

作り方

1 真鯛は軽く塩コショウをふり、あさは砂抜きし、ニンニクはみじん切りにする。2 フライパンでオリーブオイルを熱し、ニンニクを入れて香りを出す。3 2のフライパンで、真鯛を皮目から中火で焼き、焼き色が付いたら裏返す。4 3にあさりとミニトマトを入れ、白ワインを振りかけて中火に。5 ふつふつと沸騰し始めたら、蓋をして弱火で5分ほど蒸し焼きにする。6 塩コショウで味を調べて完成。

（注釈）お好みで青み野菜をちらしたり、最後に茹でたパスタと絡ませても美味しくいただけます。

詳しくは検索窓に「やまがたさかなビキッチン」と入れてクリック。

問い合わせ 庄内総合支庁水産振興課 電話番号 0234-24-6045

<14 から 15 ページ>

タイトル おいしい山形インフォメーション

山形県の人口と世帯数 令和4年1月1日現在

人口総数 1,051,974人（前月比マイナス1,055人）

世帯数 399,277（前月比マイナス209世帯）

注釈 1月31日時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の影響で変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。

【試験】

県職員採用案内2022を配布します

職種別の仕事内容や職員紹介、試験日程などを掲載した山形県職員採用案内を3月1日（火曜日）から配布します。

【配布場所】

県庁（1階受付、15階人事委員会事務局）
各総合支庁総合案内窓口
県外事務所（東京・大阪・名古屋）

ダウンロードはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/930001/kensei/recruit/saiyoujouhou/kennoshokuin/saiyosiken-top/index.html>

問い合わせ 人事委員会事務局 電話番号 023-630-2782

【募集】

夜間休日に対応可能なボランティアを募集します

「べにサポやまがた」では、性犯罪、性暴力被害者支援のため、国のコールセンターと連携して、24時間365日体制で電話相談を受け付けています。

被害者の心を受けとめ、気持ちに寄り添ってくださるボランティアを募集します。被害者が前を向くための力になります。ぜひご協力をお願いします。

特別な資格は必要ありません。研修を受講いただいたのち、参加することができます。

支援業務に従事した場合、わずかですが謝礼をお渡しします。（時給制）

【応募資格】 県内在住の25歳以上の方

【活動内容】 相談内容に応じた医療機関等への付添い支援など

【募集期間】 3月1日から4月15日

問い合わせ 消費生活・地域安全課 電話番号 023-630-2460

【催し物】

やまがた合同企業説明会 2023

県内に本社または就業場所を有する企業200社（各日100社）参加予定

【日時】 3月14日（月曜日）、15日（火曜日） 午後1時から午後4時30分

（注釈） 1日目と2日目で参加企業が異なります。参加企業は山形労働局ホームページをご確認ください。

【会場】 国際交流プラザ山形ビッグウイング（山形市）

【対象】 2023年3月に大学等を卒業予定の学生または保護者

（注釈） 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にご協力をお願いします。

問い合わせ 雇用・コロナ失業対策課 電話番号 023-630-2711

学生・UIJターン 庄内就職説明会

庄内地域に就業場所を有する企業が2日間で94社参加します。

【日時】 3月19日（土曜日）、20日（日曜日）

対面 午後1時から午後4時30分

オンライン 午前9時40分から午後1時25分（注釈）要事前予約

（注釈）1日目と2日目で参加企業が異なります。参加企業は県ホームページをご確認ください。

【会場】いろり火の里「なの花ホール」（三川町）

【対象】2023年3月に大学等を卒業予定の学生、既卒者で未就職の方、庄内地域へUIJターンを希望する方

問い合わせ 庄内総合支庁地域産業経済課 電話番号 0235-66-5485

【お知らせ】

車検証の住所変更について

自動車をお持ちの方は、住所が変わった場合、車検証の住所変更の手続きが必要です。3月末までに手続きを完了すると新住所に自動車税種別割納税通知書が送付されます。納税通知書が届かないと納税ができず、車検を受けられない場合もありますのでご注意ください。

【問い合わせ先】

山形ナンバー 山形運輸支局 電話番号 050-5540-2013

庄内ナンバー 庄内自動車検査登録事務所 電話番号 050-5540-2014

3月末までに手続きが終わらない方は、各総合支庁税務担当課へ自動車税種別割住所変更届出書を提出してください。

問い合わせ 税政課 電話番号 023-630-2068

異動の季節！本の返却お忘れなく！

3月は進学や就職、転勤などで大変忙しい時期です。県立図書館の本を返し忘れたまま県外などへ転出することがないようにご確認ください。図書館の蔵書は県民共有の財産です。一人でも多くの方が利用できるよう貸出期間の順守をお願いします。

また、県立図書館は県内居住の方のほか、県内に通勤・通学している方はどなたでも利用できます。本を借りる際は利用カードが必要です。申込書に以下の必要書類を添えて窓口で申請いただければ、すぐに利用カードを作成します。

【必要書類】

<必須>

住所氏名などを確認できるもの（運転免許証、健康保険証、マイナンバーカードなど）

（注釈）必要に応じ、県内に居住していることを確認できるもの（公共料金の領収書など）

<県外から県内に通勤・通学している方>

県内に通勤・通学していることを確認できるもの（社員証、学生証など）

（注釈）郵送でも受け付けます。

4月から始まる県内での新生活、県立図書館でゆっくりと読書してみるのはいかがでしょうか。

県立図書館の情報はTwitterでも発信中！

https://twitter.com/yamagata_p_lib?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Eauth_or

問い合わせ 県立図書館 電話番号 023-631-2523

地域と共生しながら再生可能エネルギー導入へ 今年4月1日条例施行！

県では、再生可能エネルギーと地域の自然環境、歴史・文化的環境等との調和に関する条例を制定し、発電事業者と県民とが合意形成を図りながら再生可能エネルギーを導入するための手続きを定めました。

発電事業者が自治体と協議し、住民への説明会を行い、県に事業計画案を届出。

県は事業計画案を公表し、住民等からの意見書を発電事業者へ通知。

発電事業者は事業計画案の申請を県に提出。

県は市町村から意見聴取を行い、事業計画の認定 再生可能エネルギー導入へ。

2050年までの脱炭素社会実現に向け、地域との共生を図りながら、再生可能エネルギーの積極的な導入を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

問い合わせ エネルギー政策推進課 電話番号 023-630-3354

詳しくはこちら <https://www.pref.yamagata.jp/050016/jyourei.html>

令和3年12月25日から県の特定（産業別）最低賃金が改定されました

対象／特定最低賃金額（1時間）

一般機械製造業／888円

電気機械製造業／872円

自動車附属品製造業／888円

自動車整備業／892円

最低賃金以上の賃金が支払われていますか？お確かめください。

問い合わせ 雇用・コロナ失業対策課 電話番号 023-630-3117

ひきこもりで悩んでいませんか？

「自立支援センター巣立ち」では、ひきこもり状態にあるご本人やご家族からの相談を無料で受け付けています。

【場所】県精神保健福祉センター（山形市小白川町二丁目3の30）

【相談時間】

<電話> 毎週月曜日、火曜日、木曜日、金曜日

午前9時から正午、午後1時から午後5時

<来所> 毎週月曜日、火曜日、木曜日、金曜日

午前9時から正午（注釈）要電話予約

電話番号 023-631-7141

また、ひきこもりに関する相談は、県内各保健所でも受け付けています（平日午前8時30分から午後5時15分）。最寄りの保健所精神保健福祉担当まで、ぜひご相談ください。

<村山保健所>電話番号 023-627-1184（村山地域で山形市以外に居住の方）

<山形市保健所>電話番号 023-616-7275（山形市居住の方）

<最上保健所>電話番号 0233-29-1266

<置賜保健所>電話番号 0238-22-3015

<庄内保健所>電話番号 0235-66-4931

詳しくは検索窓に「山形県 ひきこもり 相談」と入れてクリック。

問い合わせ 障がい福祉課 電話番号 023-630-2240

3月は「自殺対策強化月間」です

心の健康に関する相談をお受けします。一人で悩まずにご相談ください。

【こころの健康相談統一ダイヤル】電話番号 0570-064-556

【受付時間】月曜日から金曜日（祝日除く）午前9時から正午、午後1時から午後5時
（注釈）3月1日（火曜日）から7日（月曜日）は土日を含め午前9時から午後5時まで対応します。

【こころの健康相談@山形】

LINEを利用した相談窓口を毎日午後6時30分から午後10時まで開設しています。

アカウントはこちら

<https://page.line.me/950wtmqh?openQrModal=true>

問い合わせ 地域福祉推進課 電話番号 023-630-2268

雇用関係助成金活用事業者向け相談窓口

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている県内事業者の皆さまの雇用維持を支援するため、雇用シェアおよび雇用関係助成金に関する相談について、社会保険労務士が対応する相談窓口を開設しています。

電話番号 023-631-2959（山形県社会保険労務士会内）

（注釈）会社を休業し、従業員の方に休んでいただいた場合に活用可能な「雇用調整助成金」等の助成金の相談にも対応します。

詳しくはこちら

<https://www.pref.yamagata.jp/110009/sangyo/rodo/koyotaisaku/kotyoukin-madoguchi.html>

問い合わせ 雇用・コロナ失業対策課 電話番号 023-630-2711

新型コロナウイルス 相談・受診の流れ

〈発熱やせきなどの「症状がある」場合〉

かかりつけ医療機関がある方は

診察券に書いてあるかかりつけ医療機関の電話番号へ

- ・ 受診前に、必ず電話で受診相談をお願いします。
- ・ 相談を受けた医療機関で対応できないときは、最寄りの対応医療機関をご案内します。
- ・ 発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

かかりつけ医療機関がない方は

- ・ 受診相談コールセンターへ電話相談

フリーダイヤル 0120-88-0006【24時間受付・土日祝日も含む】

- ・ 医療機関をご案内します
- ・ 発熱等の患者の診療や検査を行う「診療・検査医療機関」が診察します。

〈「症状がない」場合〉

- ・ 感染していないか心配
- ・ 予防方法を聞きたい 等

電話相談

一般相談コールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7383【受付時間 午前8時30分から午後6時 土日祝日も含む】

厚生労働省の電話相談

フリーダイヤル 0120-56-5653【受付時間 午前9時から午後9時 土日祝日も含む】

山形県ワクチンコールセンター

フリーダイヤル 0120-56-7690

受付時間 午前8時30分から午後6時（土日祝日も含む）

聴覚や言語機能に障がいがある方については、以下の方法により受付しています。

ファクシミリ 023-625-4294（月曜日から金曜日（祝日除く）午前8時30分から午後5時15分）

<16 ページ>

タイトル やまがた伝説

豊かな自然、山形県民の知恵と

努力に培われた日本有数の米どころ“山形県”の米づくり！

山形で米づくりが本格的に始まったのは、奈良時代！

全国有数の米どころ庄内地方では、712年に出羽の国が置かれてから本格的な米づくりが始まりました。稲の生育に必要な夏の暑さ、豪雪がもたらす豊富な水、肥沃な土壌に恵まれ、米の名産

地として知られてきました。米穀保管庫「山居倉庫」は 1893 年に建てられ、お米と交換できる「米券」を発行。品質のすぐれた米が多かったため、信用が高く、日本で一番有名な「米券倉庫」になりました。現在も創業当時の景観を残し、日本の近現代における米の流通の歴史を伝える貴重な存在として、2021 年 3 月、国の史跡に指定されました。

苗 10 万個体から選抜かれたつや姫は、 米どころ山形の名声を全国に知らしめた!?

山形米の評判をさらに高めたのが、2010 年秋にデビューしたオリジナルブランド米「つや姫」です。誕生まで 12 年の歳月を要し、現在、11 年連続で食味ランキング最高評価の「特 A」を更新中。2020 年には、一等米比率でも日本一に輝きました。「つや姫」の特長を表現するために、山形で生まれた食味評価の指標である“白さ”と“光沢”は、他県での品種開発でも参考にされています。

山形県の米がおいしい理由は、豊かな自然環境だけじゃない!

山形県の米の新品種と栽培技術の開発を担っているのが、鶴岡市にある「山形県農業総合研究センター水田農業研究所」。一昨年、創立 100 周年を迎えました。本県の主力品種である「はえぬき」、「つや姫」と弟分の「雪若丸」のほか、酒用、もち用、飼料用など 23 品種もの米がここで生まれました。近年は、苗の段階で病気に強い遺伝子の有無を調べるなど、先端技術を活用した品種改良も行われています。

山形の米についてお話をお聞きした

中場 勝（ちゅうば まさる）さん

山形県水田農業研究所所長

栽培しやすく、食べておいしい、新しい品種づくりに取り組んでいます。

山形の米は、収量・品質・食味の 3 拍子がそろい、つねに全国トップクラス。作付面積では全国 6 位にも関わらず、収穫量は 4 位、これは、生産者の意識や栽培技術が高いことの証です。私たちが開発し、農家の方が一生懸命作ったお米をぜひたくさん食べてください。

やまがた伝説は今月号が最終回となります。次号からは新シリーズをお届けします。乞うご期待!

奥付

山形県広報誌 県民のあゆみ 令和 4 年 3 月号 626 号

奇数月 1 日発行 編集発行 山形県広報広聴推進課

郵便番号 990-8570 山形市松波二丁目 8 番 1 号 電話番号 023-630-2534

表紙題字 山形県知事 吉村美栄子

県ホームページアドレス <https://www.pref.yamagata.jp/>